

かけ橋



九重町立淮園小学校
令和7年 2月10日
文責 校長 河村雅文

淮園小学校 HP の QR コードです。
よかったら HP もご覧ください。

2月5日は、寒い中、なわとび大会に頑張りました

2月に入り、全国的に猛烈な寒波が押し寄せました。九重町にも先週4日～7日にかけて連日かなりの量の雪が降り、2月6日（木）は、道路凍結による早朝からのバス運休のため臨時休校となりました。こんな寒い中でしたが、2月5日（水）の2・3校時は、本校体育館で、全校なわとび大会を行いました。体育館に入っても息が白くなるほどの寒さのため、ストーブをつけての演技でした。保護者のみなさんもたくさん応援に駆けつけてくれ、子どもたちのやる気を後押ししてくれます。

この日取り組んだ種目は、①個人種目（1人1種目）、②持久跳び（1～3年は3分、4～6年は5分）、③長縄（低高別）の3種類です。個人種目では、低学年や中学年の子どもたちは、前跳びや後ろ跳びに挑戦する子どもが多かったですが、高学年になると、二重跳びやはやぶさの難しい跳び方に挑戦する人が多かったです。今回のなわとび大会で自己新記録を出した人が何人もいてこれまでの練習の成果がでていました。持久跳びでは、低学年3分・高学年5分の時間設定でしたが。低学年は3分間フルに跳び続けた人がいたし、高学年も最高4分15秒まで跳び続ける人がいました。最後の長縄では、1～3年と4～6年に分かれて、3分間の「8の字」跳びに挑戦です。①低学年→①高学年→②低学年→②高学年と、それぞれ2回ずつお互いに見合いながら長縄に挑戦しました。この日のなわとび大会で、長縄では今までの練習を上回る記録が出ました。低学年は80回、高学年は224回の新記録です。特に高学年は連続で次から次に跳んでいくので、見応えがありました。



終わりの会では、教頭先生から講評があり、今までの練習の積み重ねがあったから今日のいい結果につながったこと、高学年の頑張りを見て低学年もいい記録が出たことなどのお話がありました。寒い中でしたが、子どもたちの頑張りが光ったなわとび大会でした。応援に来ていただいた保護者のみなさんも、お忙しい中、参加ありがとうございました。

校区の高齢者のみなさんとの交流

1月30日（木）は、本校2・3年生の子どもたちが地域の高齢者の方たちと桐木一集会所で、交流を行いました。地域共生をめざす福祉教育・ボランティア協力の取組の一環で、子どもたちが地域の方とつながることが目的です。今回、社会福祉協議会の方が、間に入ってきて交流会を行うことができました。集会所に着いて、最初にお互い簡単な自己紹介をしてから、メイン交流である「ポッチャ」という種目を楽しみました。ポッチャとは、パラリンピックの種目にもなっている運動で、いかに目標のポイントに球を投げて近づかせるかを競うゲームです。子どもと地域の方がペアになってゲームをしましたが、活動が進むにつれて、だんだんと緊張感もほどけ、会話も進んで、いい笑顔がたくさん見られるようになってきました。



会の最後には、2・3年生から参加してくれた高齢者にお方へ、ささやかながら手作りのプレゼントを渡して、感謝の気持ちを伝えました。帰りには、子どもたちにお土産まで準備して下さっていて、子どもたちが笑顔いっぱいになって淮園小学校に戻ってきました。参加して下さいたみなさん、社会福祉協議会のみなさん、楽しいひと時をありがとうございました。また、地域の皆さんと交流できるといいなと思います。大変お世話になりました。